

令和4年度 第3回

病院経営戦略会議報告

日時 令和4年5月10日（火） 13時00分～13時30分
場所 3階講堂会議室1・2
出席者 堀之内院長 小山副院長 増田副院長 安西看護部長
堀越病院経営部長 高橋病院総務課長 三上病院施設管理課長
富田病院財務課長 増田医事課長 鈴木情報管理室長
日向患者支援センター副所長
事務局 坂口病院総務課課長補佐

内 容

◎高橋病院総務課長

【協議事項】

（令和4年度さいたま市立病院医療技術員採用計画（案）について）

- ・本年度、市立病院において採用選考試験を行いたい医療技術職、職種は歯科衛生士、臨床工学技士の2職種の採用選考について協議をお願いするもの。この2職種については、第3次中期経営計画人員計画で増員としているものとなる。
- ・歯科衛生士は、本年度増員分1名を10月採用とする選考試験を7月30日（土）に実施する。この1名増員により現員4名から5名となる。また、中途採用であることを踏まえ、応募の年齢制限は定年前までとしている。なお、人員計画では、令和7年度までに7名とする計画。
- ・臨床工学技士については、令和5年度までの増員分2名を4月採用とする選考試験を10月29日（土）に実施する。この2名増員により現員10名から12名となる。また4月採用のため、新卒者のキャリア形成を図る観点から、新卒者をはじめとした方を対象として、年齢制限を35歳未満と設定した。なお、人員計画では、令和7年度までに14名とする計画。
- ・このほか、市人事委員会が実施する医療技術職等の採用試験において、当院の退職者に係る欠員補充及び増員に対応する。職種は、診療放射線技師の10月採用で4名、4月採用で2名。その他の職種は全て4月採用であり、薬剤師2名、臨床検査技師1名、理学療法士4名、作業療法士2名、栄養士2名、福祉職である社会福祉士2名としている。
- ・なお、本件協議事項について、人事課、財政課からは、意見なしとの回答を得ている。

→ 本件について承認する。なお、計画を進めるうえで病院財務課とも連携して対応してほしい。(堀之内院長)

◎三上病院施設管理課長

【報告事項】

(旧病棟の解体工事について)

- ・ひまわり、さくらそう棟西側への外部足場、防音パネル、朝顔の取り付けに伴い立体駐車場からの出口部分が工事部分となるため、安全誘導員をつけ、駐車場への出入りを調整していく。期間は5月13日から3日間であるが、渋滞の発生しない午後の時間に施工していく。

◎富田病院財務課長

【報告事項】

(さいたま市立病院中期経営計画進行管理支援業務の契約について)

- ・本年度の中期経営計画支援業務についてコンサルタントとの契約を締結した。入札の結果、本年度も(株)麻生と契約した。契約期間は令和4年4月22日から令和5年3月31日まで。

◎増田医事課長

【報告事項】

(施設基準の届出に係る影響額について)

- ・この4月の診療報酬改定に伴い実施した届出について全15項目となった。令和3年度の診療実績に基づき試算を行ったところ、今回の届出により約6,500万円の増収が見込まれる。ただ、高難度の手術については、すぐに行われるか不透明な部分もあり、手術部分を除いた影響額については約3,500万円の増収と見込んでいる。
- ・届出に至っていないものとして急性期体制充実加算があり、この金額が約1.5億円と見込まれる。
- ・この他、現在作業中のものについても順次届出を行っていきたいと考えており、準備ができ次第、ご報告させていただく。
 - 急性期充実体制加算が届出に至っていないのは、基準を満たしていないからか。(小山副院長)
 - 職員の研修受講等が必要であり、基準を満たしていない。(医事課長)

- 是非、急性期充実体制加算が取れるように取り組んでほしい。(堀之内院長)
- 後発医薬品使用体制加算が1から2となった関係で、影響額が大きいのかと思っていたがこの程度か。(増田副院長)
- 後発医薬品使用体制加算1のハードルが高い一方で、影響額がこの程度であることから、当面は後発医薬品使用体制加算2の届出でいくこととなる。(医事課長)

◎鈴木情報管理室長

【報告事項】

(情報端末について)

・院内インターネット端末について、令和6年度が契約更改のタイミングとなる。現在、色々ご不便をおかけしているように、端末の速度が遅かったり、通信が途切れたり課題が多いことから、仕様を作り直すにあたって、強化のための原資をどのように生み出すのかも含めて検討している。併せて、関係者へのアンケート調査を予定していることから、ご協力をお願いしたい。(情報管理室長)

→ 半田市民病院などで情報セキュリティ上の問題が生じているとの報道も耳にするが、当院での対策はどうか。(院長)

→ いわゆる「ランサムウェア」というもので、医療機器を含めた各システムを遠隔操作で保守しているところ、その遠隔操作の回線を悪用されたというもの。当院としては、遠隔操作で保守を行うメーカーに対し、セキュリティ対策を施せない場合は通信によるサポートは見合わせるようにする方向で、調査指導を行っている。(情報管理室長)

◎堀之内院長

・昨日はまた新型コロナウイルス感染症陽性患者が増えており、不気味だなど思っている。当院としてもどこまで対応していくのかを考えていかなければならない。